



第2学年 生活科 学習指導案

1 単元名 「GO GO ふるはま公園たんけんに出ばつだ」

2 単元目標

「大森ふるさとの浜辺公園」で遊ぶ活動（以下ふるはま遊びと言う）を通して、地域に親しみをもって生活しようとするとともに、友達同士で活動計画を話し合うなど生活上に必要な習慣や技能を身に付けたり、地域の資源を生かして遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ふるはま遊びを通して、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わることに気付き、地域に親しみをもって生活しようとしている。 ふるはま遊びを通して、友達の考えの良さに気付き、自分の考えと比べたり、見直したりして遊びの計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるはま遊びのできる活動を見つけ、地域のよさについて考えている。 ふるはま遊びを通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、自分たちが考えてできたことを楽しさとしてとらえている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気を付けてふるはま遊びに取り組み、地域の施設や友達と関わることへの関心を示している。 ふるはま遊びを通して、友達と楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

4 単元について

1学期の町探検や2学期の生活科見学で学習したことを踏まえ、ふるはま遊びを通して、自分たちで決めたテーマを追究していく単元である。児童が自分の思いや願いを実現するために友達と進んで交流し、見方や考え方を広げられるように指導していく。

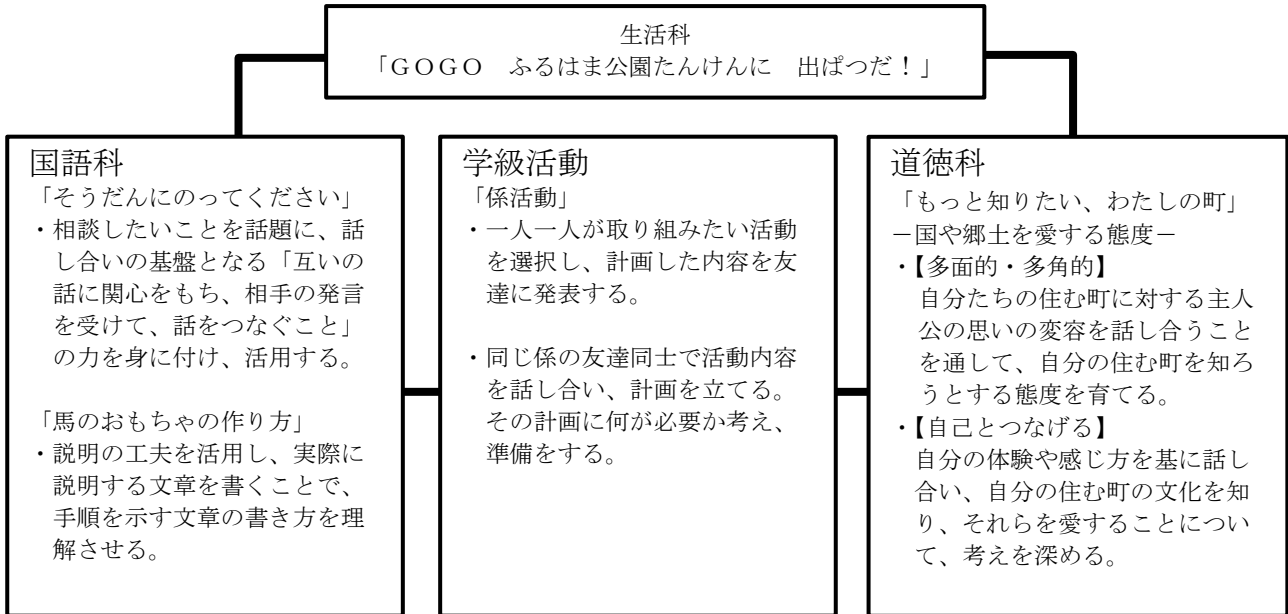
5 SDGsとの関連

[関連目標⑪] ふるはま遊びを通して自分の住む地域へ愛着を持ち、これからも地域を大切にしようとしている。

[関連目標⑭] ふるはま遊びで魚やカニなどを捕まえたり、観察したりして、水辺の生き物や自然を大切にしようとしている。

[関連目標⑮] ふるはま遊びで木や花、虫を捕まえたり観察したりして、公園の動植物や自然を大切にしようとしている。

6 他教科等との関連



7 児童の実態

1学期の学習「町たんけん」では、「自分の地域」である商店街や公園に行き、様々な気付きを見付けることができた。草花や木、虫、建物や働く人などの視点から、自分たちの町を多面的に捉えることができたと考える。

ESDアンケートの中で、②未来（生活との関連）、③多面（様々な視点の考え）、⑤協力（グループ活動）⑥関連（地域の一員）の数値が高い。他教科でも実践している「トリオ活動」で話し合いの充実を図ったり、昨年度、他学年が開いた「ESD集会」の内容から自分たちの町に興味をもったりすることなどが、4項目の数値につながっていると考えられる。

一方で、①批判「自分の考えと友達の考えの似ているところを見つけることができる。」や③伝達「自分の考えを、自信をもって伝えることができる。」、⑦参加「自分の考えをたくさんの人に知ってほしいと思う。」の項目については、数値が低い。このことから、本時では、グループ活動の中で、自分の考えに自信をもって発表し、友達の発言を受けてよりよい考えに導く学習を行う。本時まで一人一人が具体的な考えをもち、目的意識や活動への見通しをもって取り組めるようにする。計画を基に実際に活動し、振り返ることを通して、よりよく変化していることに気付かせたい。また、国語「そーだんにのってください」や「馬のおもちゃの作り方」などの学習で、自分の考えを深めるために話し合ったり、発表するための文章をまとめたりする経験を生かしていく。

「大森ふるさとの浜辺公園」での活動に向けて、児童が自分たちで「取り組みたいこと」や「準備するもの」を考えて、主体的な学習にしていきたい。そのために、児童一人一人の取り組みたいことを教師が把握し、グループの取り組みたい活動を明確にさせる必要がある。その手立てとしてパワーポイントのスライドショーを活用して記録し、常に考えを振り返るようにしていく。



8 研究に迫るための手立て

(1) 児童や授業者が「学びを評価」するための評価方法の手立て

ア 記録を残す（授業者）

パワーポイントを利用して、児童の思いや願い、活動内容を記録する。児童一人一人のページをつくったり、全体的話し合いを1ページにまとめたりすることで、学習の流れを確かめることができるようにする。自分やグループの活動の振り返りや次時の計画に活用する。

イ 活動の振り返りで自分の成長に気付かせる（児童）

「大森ふるさとの浜辺公園」での遊びをテーマにした活動で、計画する、話し合う、表現する、協力する等の様々な能力を伸ばすことができたかどうか自己評価する時間をつくる。児童は計画通りにうまくできたかどうかの結果だけで自分の活動を評価しがちであるが、計画をすすめる過程でどのような活動ができたか、どのような思いや願いをもてたかに目を向けさせ、自分の成長に気付かせる。そのために、教師の言葉かけや評価による活動への価値付けを意識して指導をする。

(2) 学びを深める学習活動の手立て

ア 「ふるはま遊び」を繰り返す

児童が計画した遊びを工夫、発展させるため「ふるはま」での校外学習を3回設定する。1回目で気付いたことをもとに、計画を修正したり、広げたりすることで、2回目の活動への意欲を持続させる。さらに、1年生を遊びに招待するという視点から工夫をさせる。

イ グループ活動

同じ遊びを選んだ児童同士でグループを作り、自分の思いや願いを実現するために話し合いをする。一つの考えにまとめるのではなく、全員の思いや願いが実現されるように話し合いを進める。国語で学習した話し合いの手法を生かす。

ウ 交流活動の設定

2回目の「ふるはま遊び」の前に、学年全員で情報交換を行う。互いの活動内容を知ること、2回目の活動計画や活動内容を見直し、より楽しい遊びを作ることができるようにする。

また、1年生との交流活動を設定することで、遊びを伝える楽しさや自分の成長に気付かせる。年間を通じて同じ相手（お相手さん）とかかわり続けることで、相手に合わせた計画や言葉かけの具体的なイメージをもちやすくしている。

9 単元の指導計画と評価計画 生活科（全19時間）

時	目標	主な学習活動	評価
1	・1学期の町探検、秋の自然とのふれあいで感じた楽しさをもとに、次の活動への期待をもつ。	・校外学習（町探検・どんぐり遠足）を振り返り、地域の施設「大森ふるさとの浜辺公園」での活動について話し合う。	・地域の場所や友達と関わることへの関心や期待をもっている。（発言・行動）
2	・昨年度の2年生との「大森ふるさとの浜辺公園」での活動を思い起こし、活動の大まかな計画を立て、思いや願いをもつことができる。	・「大森ふるさとの浜辺公園」での活動について話し合い、様々な遊びができることを知る。	・「大森ふるさとの浜辺公園」でできる活動を考えて、学習の見通しをもっている。（発言・ワークシート）
3		・「大森ふるさとの浜辺公園」での活動で、追求してみたい遊びを具体的に考える。（ウェビング）	
4		・活動名を決め、今後の活動のおおよその見通しをもつ。	
5	・「ふるはま遊び」の活動計画を立てることができる。	・遊びごとにグループを編成し、計画を立てる。 【国語1時間】話すこと聞くこと「そうだんにのってください」	・「ふるはま遊び」の様子を思い描きながら計画を立てたり、約束を決めたりしている。（話し合いの様子・ノート）
6	・グループでの計画に沿って、「ふるはま遊び」を楽しむことができる。	・「大森ふるさとの浜辺公園」での遊び（1回目）をする。	・安全に気を付けながらすすんで活動し、楽しさを見つけている。（行動）
7	・これまでの活動を振り返り、次の計画を立てることができる。	・活動の振り返りをもとに、今後の活動内容を話し合う。（全体→グループ）	・楽しく活動できたことと、さらに工夫することを話し合い、次の活動の計画を立てている。（話し合いの様子）
8	・自分の活動内容を伝えることや次の活動の準備をすることができる。	・1回目の遊びから得た情報や調べたことを、自分なりの方法で表現する。（作品・作文など） ・2回目の活動に向けて、図書資料や海苔の資料室を活用して、準備をする。	・「ふるはま遊び」を楽しみたいという願いのもと、活動の振り返りや準備をしている。（制作物）
9		【国語2時間】書くこと「おもちゃの作り方」	
10	・学年で、活動内容を交流し、自分や友達のをよさを認めることができる。	・グループごとに1回目の遊びについてまとめたことや調べたことを情報交換する。	・友達の考えのよさに気付いて、自分の考えと比べたり、見直したりして遊びの計画を立てている。（発言・話し合いの様子）
11		・2回目の「ふるはま遊び」の計画を立てる。	
12	・自分の計画に沿って、	・「大森ふるさとの浜辺公園」で	・みんなが楽しく「ふるはま

	2回目の「ふるはま遊び」を楽しむことができる。	の遊び（2回目）をする。	遊び」ができるように、安全や約束に気を付けて活動している。（行動）
13	・1年生との交流活動の計画を立て、準備をすることができる。	・これまでの「ふるはま遊び」を振り返り、今後の活動の見通しをもつ。	・1年生との活動を思い描きながら「ふるはま遊び」の約束やルールを話し合っ、準備をしている。（ワークシート・話し合いの様子・制作物）
14 本時		・1年生との交流に向けて計画をする。	
15		・1年生に「ふるはま遊び」を伝えるために準備をする。 【国語2時間】 話すこと聞くこと・書くこと 「そうだんにのってください」 「馬のおもちの作り方」	
16	・1年生に「ふるはま遊び」の内容を伝えることができる。	・遊びのグループごとに「ふるはま遊び」を発表する。	・1年生と一緒に「ふるはま遊び」をしたいという願いをもち、計画の楽しさを伝えている。
17	・1年生と「大森ふるさとの浜辺公園」での活動を通して楽しく交流することができる。	・1年生に「ふるはま遊び」を伝え、活動する。	・みんなで「ふるはま遊び」を楽しむには、約束やルール守ることが大切であると気付いている。（行動・発言）
18	・単元の学習を振り返って、自分や友達の成長を見つけることができる。	・単元を通して、自分のよさや友達のよさ、グループ活動のよさを具体的に思い出し、感想や自分の成長を振り返る。	・「ふるはま遊び」を計画したり工夫したりできたことを楽しさとしてとらえている。（制作物）
19		・次の活動への思いや願いを共有し、計画を立てる。	・「大森ふるさとの浜辺公園」や友達への親しみや愛着をもち、これからも大切にしようとしている。（発言・ワークシート）

10 本時（14／19時間）

（1）本時の目標

遊びを振り返り、今後の活動の見通しをもつ。

（2）本時の展開

時間	○主な学習内容 C：予想される児童の反応	◆指導上の留意点、配慮事項 ◇評価規準（評価方法）
導入 3分	○本時のめあての確認をする。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;">1年生との ふるはまあそびを けいかくしよう。</div>	
展開 35分	○1年生とどのような遊びができるか考え、ワークシートに書く。 C：1年生のためにしかけを作って準備しておこうかな？ C：ぼくはサンドアートをして楽しかったな！ C：1年生とまた城を作りたいな！ ○1年生とどのような遊びができるかトリオで意見を出し合い、よりよい計画を考える。 C：○○さんの考えなら楽しめそうだね！ C：もっと○○すればいい遊びになるかもしれないよ！ C：1年生に合わせて計画しているな！ ○トリオの話し合いを基に、計画を見直す。	◆自分が何をして楽しかったか、1年生なら何をして楽しめるかを明確にする。 【ワークシート記入】 ◇自分の考えをもち、具体的な活動の計画を表現している。 【ワークシート・発言】 ◆自分の意見を相手にしっかり伝えてから、友達の見解を参考によりよい計画にさせるよう促す。 ◆一人一人に対する相談の時間を設ける。 ◆質問をし合うことで自分一人の考えたときよりも、意見が付け足されていることに気付くよう声がけをする。 ◆パワーポイントのスライドショーで記録して、振り返りしやすい形にしておく。
まとめ 7分	○本時の学習について振り返る。 【振り返りの視点】 ・友達の意見によって、追加したこと ・1年生のことを考えて変更したこと	◆他のグループの遊びの計画を聞いて、付け足したいことがあったか、感想を聞く。 ◇友達の考えから、良さや付け足したいことを見つけようとしている。 【ワークシート・発言】